



## 1月うぶやま天文台星空情報①

# 水星が西方最大離角 (水星探しにチャレンジしよう)



天空が広がるうぶやまの高原から見渡せる阿蘇・久住・祖母の山々には冠雪があり、厳しい冬の真っ只中です。大変寒いのですが、冬が星空は一番きれいな季節です。

1月のうぶやま天文台の星空情報の第2弾は、1月30日の水星の西方最離角の情報です。熊本では21日から30日までの間、日の出30分前の水星の高度が10度前後のため見つけやすくなります。地球よりも内側の軌道を公転している水星は、見かけの位置が太陽から大きく離れることはありません。そのため、水星を観測するチャンスは、日の出前か、日の入り後のわずかな時間に限られます。「最大離角」の頃には、水星が見かけ上太陽から最も大きく離れるため、観測の好機となります。東の空が開けている場所で、南東の低空にある水星を探してみてください。

空がまだ暗いうちから探し始めると、見つけやすいでしょう。双眼鏡を使うと見つけやすくなりますが、水星を追いかけるように太陽が昇ってきますので、太陽を双眼鏡で見ないように、日の出前には観測を終えるようにしましょう。この頃の水星は、明るさが-0.1等級あるため探しやすいと思います。

